

ふくい生衛だより

発行所/福井市松本3丁目16-10 (公財)福井県生活衛生営業指導センター 発行人/理事長 光森 幸夫 印刷所/(有)田中印刷堂

新年のごあいさつ

福井県知事 杉本 達治



新年あけましておめでとうございます。みなさまが、清々しく健やかな新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、福井県にとって悲願でありました北陸新幹線福井・敦賀開業が実現し、開業日には新幹線四駅周辺の記念イベントに約12万人が来場するなど、県内全体が祝賀ムードに包まれました。開業後の来訪者数は前年に比べ約2割増え、民間投資の拡大により駅周辺を中心に

路線価の上昇は全国最上位となるなど、まちや人の流れに大きな変化が生まれ、未来への可能性が広がる「ふくい新時代」を迎えました。

また、約1万3千人が参加した「ふくい桜マラソン」の初開催、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰いだ全国育樹祭の開催に加え、全国唯一「御食国若狭と鯖街道」の日本遺産プレミアム選定や、12年連続「幸福度日本一」獲得など、福井県が全国からの高い注目を集めた1年となりました。

新しい年は、福井県をさらにステップアップさせていく年です。新幹線効果の県全域への波及に向け、インバウンド誘客を含む観光や文化芸術・スポーツを通じた交流人口の拡大、農林水産業の成長産業化などを積極的に推進します。また、小浜京都ルートによる北陸新幹線の早期整備にも全力を尽くしてまいります。

さらに、こども・子育ての喜びを次世代につなぐ「ふく育県」や「子どもが主役の教育」の推進、若者・女性のチャレンジ応援のほかシニアの経験など多彩な能力が発揮される県民総活躍社会の形成、一人ひとりに寄り添った医療・福祉・防災等の充実など、生活基盤の豊かさのもとに誰もが幸せを実感できる「ふくい型ウェルビーイングモデル」の実現を目指します。

生活衛生関係事業者のみなさまにおかれましては、日ごろから県民生活の質の向上と、地域の活性化にご尽力をいただいているところです。それぞれの分野の特徴、強みを存分に発揮いただき、福井をもっと面白く、幸せな県にするためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、みなさまのますますのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶



公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター理事長
福井県生活衛生同業組合連合会会長

光 森 幸 夫

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましてはお健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より当指導センターの業務運営につきまして格別なるご支援、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は能登半島における地震による未曾有の災害で幕を開け、その後も豪雨災害など全国各地で自然の驚異を感じる一年となりました。未だ復興途中の被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

一方、福井県におきましては、コロナ感染症の5類移行後、各地の祭りや各種イベントなどの再開、更には北陸新幹線の敦賀延伸効果による県内観光客の増加、人の流れの活発化など、経済に及ぼすプラス効果も少なからず見えてきたように感じます。この効果が県内全域に広がるよう願っております。

しかしながら、われわれ生衛業においても原材料費や燃料費の高騰など物価高による厳しい経営を強いられる深刻な状況が続いております。

こうした生衛業を取り巻く経営環境の中、当指導センターにおきましては、今年も引き続き、各事業者様の実情を踏まえたきめ細かな支援を行うとともに、生活様式の変化、デジタル化対応など将来の経営環境を見据えた経営改善、基盤強化への取り組み、融資関係、その他各種相談会や研修等も進めてまいりたいと考えております。

また、生衛業におきましても、地域社会を構成する一員との意識をこれまで以上に高め、地域との連携、協働など生衛業の有する社会的機能も発揮すべく各組合の基盤強化と活性化にも尽力いたしたいと考えている次第です。

そのためには、県および関係機関等のご支援、ご協力を賜りながら県内生衛業が一丸となり、その魅力を高め、その魅力を発信していくことが不可欠であると考えており、組合の発展のためにも、皆様方のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

最後になりますが、生活衛生同業組合ならびに生活衛生業者の皆様にとりまして、今年一年が輝かしい飛躍の年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



本年もよろしく願い申し上げます

(公財)福井県生活衛生営業指導センター役員一同



理事長	光森幸夫 (中華料理)		
副理事長	土田耕一 (旅館ホテル)	寶山榮一 (麺類業)	山田剛士 (美容業)
理事	奥村数馬 (理容)	有賀秀雄 (クリーニング業)	岩崎博司 (公衆浴場業)
	伊井彌州雄 (興行)	木村裕昌 (料理業)	松谷亨 (寿司商)
	西野昌美 (喫茶飲食業)	中村勉 (飲食業)	後藤和憲 (社交飲食業)
	森谷淳一 (食肉)	池上栄志 (福井県健康福祉部長)	
専務理事	南部晴彦		
監事	北川昌信 (クリーニング業)	渡邊良一 (料理業)	(令和7年1月1日現在)

栄えあるご受章おめでとうございます

元福井県麺類業生活衛生同業組合 副理事長

木下 善博 氏

春の叙勲で「旭日単光章」を受章されました



元福井県公衆浴場業生活衛生同業組合 理事長

山崎 一美 氏

秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました



生活衛生功労者の表彰

生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰、福井県知事表彰、福井県生活衛生同業組合連合会長表彰を受賞されました。

日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げますとともに今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。
(敬称略)

厚生労働大臣表彰

岩倉 一也（社交飲食） 清水 嗣能（旅館ホテル） 西村 春雄（中華料理）

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

安達 義治（公衆浴場） 橋詰 勇（旅館ホテル） 高畠 重蔵（飲食）

福井県知事表彰

石橋 和人（美容） 芝田 収一（理容） 辻 孝子（飲食）
西本 洋子（美容） 平野 秀樹（麺類） 桝家 次郎（喫茶飲食）
宮崎 邦和（理容）

福井県生活衛生同業組合連合会長表彰

富田 光夫（理容） 中出裕美子（旅館ホテル） 北野 耕一（飲食）
山田江理子（社交飲食） 吉田 東六（社交飲食）

組 合 だ よ り

理容生活衛生同業組合

昨年は、福井県理容美容専門学校にて、7月15日に、若年層を対象としたシェービング体験イベントを開催しました。

今年度も引き続き、形を変えて、メンズ・レディースシェービングおよびメンズフェイシャルのPRをしていきたいと思っております。

組合のホームページをリニューアルし、「行きたい床屋が見つかる!」をキャッチフレーズに、見やすくしましたので、是非ホームページから皆様の「行きたいお店、お気に入りのお店」を探してください。

さらに、Instagramも立ち上げ、組合加盟店のPRに力を入れ、女性の顧客を含め新規顧客の増加や、集客アップに繋がれるようホームページやInstagram等SNSで活動内容をご紹介します。

また、今年度も継続して技術講習会や衛生講習会を開催し、組合全体の資質向上と収益アップに繋がる有意義な事業に取り組んで参ります。



美容業生活衛生同業組合

福井県美容組合としての活動報告をいたします。

4年近く続いた新型コロナウイルスの影響も少しずつ和らいでいき、組合活動としても徐々に講習会を実施出来るようになりました。その中でも大きなものを二つ紹介します。

一つは、我々生活衛生関連組合として組合員の減少に歯止めをかけることは喫緊の課題です。そこで、八月に理事長自ら陣頭指揮を取り、資料を用いて組合の存続意義から、組合の起こり、今後の予想について熱く語りました。まずは組合員の加入、増強を含め、組合員が組合のことを知らなければ意味がないと考えたからです。そして、組合加入のメリットもそうですが、組合がなくなるデメリットを説明、理解してもらうことで、組合の存続意義を再認識させました。

二つ目は、組合のお祭りである「福美祭」において、「元禄時代・見返り美人図の世界」をテーマに帯結びを披露しました。

元禄時代の町娘の帯でしたが、組合員の関心も高く、多くの人に見てもらい盛んに終わりました。日本の伝統的な和装の帯が見れたことで大変良かったと思います。今後とも美容組合としては、組合員増強と講習会を通じて広く生活衛生業全般の活動普及に貢献していくつもりです。



クリーニング業生活衛生同業組合

当組合では、サステナブル社会を目指し環境に配慮した活動を今年も引き継ぎ、「ハンガーリサイクル」(回収)や「おさがり学生服」として不用になった学生服を必要とされる親子さんに利用してもらう

橋渡しを行っています。また、令和6年度は、5～6年生を対象に、長橋小学校にて殿下小学校と合同で出前授業を行いました。洗濯表示の解説をクイズ形式にしてみたり、楽しくわかり易い授業内容とし、また応急のシミ抜き方法やアイロンがけのコツを話し、実際に自分のハンカチにアイロンをかけてもらうなどの授業をしました。

「家に帰ったらお母さんのお手伝いでアイロンをかける」「シミを取るときは上からたたくんだ。こすってはいけないんだ」など子供たちの生き生き、ハツラツとした姿がみられた授業でした。

中学2年生が対象の体験学習では、実際にクリーニング店に来て、受付やワイシャツ仕上げ、包装など学校では出来ない現場を2日間体験してもらいました。



公衆浴場業生活衛生同業組合

今年のスタンプラリーは「お遍路巡礼スタンプラリー」と銘打ち、県内全ての銭湯を巡る「ガチ」のスタンプラリーに変更しました。

敦賀から大野まで、県内12か所の銭湯を巡るには、6,000円相当の入浴料とそれなりの時間と旅費を要します。

そのため企画段階での達成者予想は、せいぜい10名程度で、マニアックな銭湯ファンしか参加しないだろうと決め込んでいました。

ところが、スタート僅か1ヶ月で第一号の達成者が現れ、親子連れや仲間同士で参加する人、東京、富山、金沢など、遠方から参加する人も見受けられ12月現在で20名に達しました。

「来年も挑戦したいので銭湯を残して欲しい」「福井の銭湯の良さを再発見出来てうれしかった」等々、たいへんありがたいお言葉をいただき、公衆浴場の存続、発展のための心強い励みとなりました。



達成者の皆様は、誠の銭湯ファンであり、銭湯の良さを啓発できる「語り部」「伝道師」とであると確信しております。

この場をお借りして感謝を申し上げますとともに、来年度も是非ご参加していただきますよう心よりお願い申し上げます。

興行生活衛生同業組合

中長期的に映画館への動員を増やす施策として、年少の子供たちにターゲットを絞り、来場の習慣化につなげるために、厚生労働省の補助金を受けて、体験型映画館ツアー「レッツプレイムービー」を開催しました。当日は小学生親子30名を招待し、キャストによる軽快なトークとクイズなどのショーを鑑賞、映画館のバックヤードの見学・体験ツアーを実施しました。「映画がどうやって映るのかがわかり面白かった」「映画館の裏側が見れて楽しかった」と大変好評でした。小学生の方に映画に対して興味を持って頂けたかと思います。

顧客と映画館と作品が会って初めて映画という無形の文化が成立することを実感していただくことで、将来映画を後世に伝える役割を担って頂きたいと願うばかりです。

幕末、福井の町医者で不治の病として恐れられた天然痘から日本を救おうと命がけで闘った笠原

良策の生涯を描いた映画「雪の花 ―ともに在りて―」が1月24日から全国公開されます。良策役は松坂桃李さんで、役所広司さん、芳根京子さんが脇を固めます。おさこえ民家園や旧田村家などロケの大部分は福井県内で行われました。是非、皆さんに観て頂きたい作品です。ご鑑賞を心よりお勧めいたします。

また、昨年大ヒットした福井の眼鏡産業の黎明期を描いた「おしよりん」のDVD&CDがテアトルサンクのチケットセンターで販売されています。あの感動にもう一度浸りたい方は是非お買い求め下さい。

本年も、映画館では1人でも多くの方に劇場に足を運んで頂き、より快適にご利用頂けるよう組合員一同で取り組んでいます。今後とも映画と劇場を末永くご愛顧頂きますようお願い致します。

旅館ホテル生活衛生同業組合

「いつどこで起こるかわからない自然災害発生時の対応」経営セミナーを開催

2024年(令和6年)1月1日16時10分、石川県の能登半島で地震が発生。地震の規模はM7.6で、輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7を記録した。

8月には、宮崎県の東南東で震度6、その他日本の各地で地震が発生、南海トラフ巨大地震が起こるのではと不安な状況であり、旅館・ホテルの宿泊施設においてもその時に備えておかなければならない。

今回、元全旅連会長、現石川県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長の多田計介氏に、自身の体験をもとに講演していただけることになった。多田氏が経営する施設「湯けむり宿美湾荘」は石川県の和倉温泉にあり、今回の地震で甚大な被害を受けられ、未だ再開のめどはたっていない。

今回の講演では、お客様にいかに安全に避難していただくように対処したか(当時1月1日はホテルの客室はほぼ満室の状態)、電気、ガス、水道等のインフラがない状態での避難状況、宿泊施設としての今後の備え方等々、貴重な講演内容で、参加人数も多く、NHKのニュースに放送されるなど大変有益なセミナーとなった。



料理業生活衛生同業組合

去る6月10日、11日の両日、ホテルフジタ福井において、第109回全国料理業福井大会を開催しました。当初は令和2年度の開催を予定していましたが、コロナ禍による延期を経て、昭和39年度以来、実に60年ぶりの本県での開催となりました。

大会には、全国から集まった組合関係者のほか、厚生労働省、福井県、福井市、日本政策金融公庫等から多くの来賓にご臨席いただき、式典、功労者表彰、次年度開催地である福岡県組合への引継ぎ等を行いました。

大会後の懇親会では、映画・ドラマ「チア☆ダン」のモデルになった福井商業高校チアリーダー部JETSの卒業生の皆さんによる賑やかな踊りで、参加者全員が元気を貰い、また、本県出身の花柳流師範である花柳藍五郎さんを中心とした日本舞踊、長唄により、日本の伝統芸能の良さに触れ、終始

和やかな雰囲気の中で参加者同士の交流も一層深まり、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の大会を成功裏に終えることができましたのは、皆様のご支援、ご協力の賜物であり、この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

寿司商生活衛生同業組合

「第68回 全国すし連 福井大会 開催」

来る2025年10月21日、福井市にぎわい交流施設「ハピテラス」にて、【美味しい寿司には福来る】のテーマのもと、全国すし連『福井大会』を開催する運びとなりました。当大会は、各都道府県の組合の方をはじめ、業界関係者の方々等、総勢400名が一堂に会し、すし業界の組織の拡大、発展や技術の向上を目指し、お互いの知識や情報を交換、習得し合い、研鑽を積むと共に、親睦と団結を強める大切な場でもあります。

7年に一度、持ち回りでの開催となる「中部ブロック会議」より、はるかに規模も大きく、何倍もの参加者が集う全国大会。福井での開催は初めてということもあり、株式会社ライトスタッフの方々にもご協力を賜り、組合員が一丸となって、大会の成功に向けて万全の注意を払い、少しでも多くの方々にご参加いただけるよう準備を進めて行く所存です。

この大会での情報発信が、「福井ブランド」の魅力を少しでも皆様に伝えるきっかけになれば、福井のイメージや認知度のUP、誘客拡大にも繋がっていくのではないかと大いに期待しています。

当組合員の皆さん！これから準備や対応大変だと思いますが、何卒ご協力をお願いいたします。

海の幸、山の幸に恵まれた福井ならではの【心のこもったおもてなし】を心掛け、福井に来てよかったなあ、美味しかったなあ！と全国の皆さんに喜んでいただきましょう。



麺類業生活衛生同業組合

『第14回全国高校生そば打ち選手権大会 啓新高校 2連覇』

令和6年7月24日(水)東京都立産業貿易センターで、全国高校生そば打ち選手権大会が開催され、全国から生そば打ち選手権大会が開催され、全国から26チームが集まり日頃の練習の成果を披露しました。会場では、熱い戦いが繰り広げられていて、打ち台に向かっている生徒の真剣な姿は、いつもの練習の顔つきとは違い、鋭い眼差しで、そば生地と対話している様でした。見ているほうも、感動を覚えましたし、そば打ちに対する思いが感じられて、自分自身も初心に帰る思いになりました。また、審査の結果で泣き崩れる学校もあるほどでした。啓新高校のAチームが優勝、Bチームも準優勝と大会2連覇を成し遂げ、全国に技能の高さと「そば」大国福井をアピールすることが出来ました。

この大会は、蕎麦を通じて全国の仲間たちと交流する機会として、2011年から開催されています。「そば」の伝統と食文化を継承し、食育や農産振興、蕎麦打ち文化の更なる発展、普及を目指している大会でもあります。年々、そば店に担い手として就職している生徒たちが、全国で増えていると聞き、喜ばしい成果が出ています。



喫茶飲食業生活衛生同業組合

「コーヒー講習会」

コーヒー豆価格のニュースを受けて講習会を実施いたしました。今回の記録的な高騰には世界的な気候変動や、円安、人権など諸々の要因が重なっていると説明を受けました。

今後も私たちがコーヒーを身近に楽しむためには、生産地での問題、消費国での課題等を今、真剣に考える必要があります。

「秋の研修旅行」

11月26日(火)に実施された秋の研修旅行には、23名が参加しました。金沢ツアーでは、普段合う機会の少ない組合員と顔を合わせ楽しい交流ができました。大満足の日になりました。

令和6年度も、引き続き新規組合員の入会無料キャンペーンを実施し、新たな組合員も加入しました。

これからも微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう役員一同、知恵を絞って事業を推進してまいります。



飲食業生活衛生同業組合

福井県飲食業生活衛生同業組合の振興事業として、鯖江支部が受け持たせて頂きました。11月12日(火)に鯖江市内の就労継続支援B型施設ハートオブマインドさんへ食事の提供事業を行いました。

施設が2カ所ありますが1カ所で手渡しを行いました。10時から敷地内駐車場をお借りして秋吉の焼き鳥を焼きました。食事に関しては場所の問題も有りお弁当スタイルで配達としました。ここ数年同じ施設での活動ではありますが、当初は施設の方々もおとなしく遠慮気味ではありましたが、複数年続けたことで毎年明るく挨拶しながら喜ぶ姿を見れるようになりました。また来年もお願いしますなどの声掛けもいただき、組合員10名での活動ではありましたが、大変良い事業が出来たと感じております。

施設の職員さんたちも協力的で非常に気持ち良く、あまり知られていない施設に対しての活動は働く方々のモチベーションにも繋がるとの事で、代表理事の方からのお礼の言葉が心のこもったものでした。非常に有意義な振興事業が行えました。ありがとうございます。



社交飲食業生活衛生同業組合

観光地にはインバウンド客等で、人の流れも戻り、生衛業も持ち直しの動きがみられる中、遅れをとっているのが、社交業界と言われております。

そのような中、令和6年度税制改正で、会議費、飲食費等の経費計上が「5千円から1万円」に引き上げられ、中小企業の交際費特例措置も3年延長となりました。



20年ぶりとなるこの改正を飲食需要喚起の機会と、名刺サイズのカード200枚を配布いたしました。

組合員、お客様の双方に周知していただき、各企業、事業所の飲食需要や接待文化の回復に繋げ、社交飲食業の売上をコロナ禍前の水準に戻すことを目指します。

食肉生活衛生同業組合

「ふくい食と農の博覧会」

イベント参加事業として、令和6年9月29日(日)に福井駅、県庁周辺等で開催された「ふくい食と農の博覧会」に出展しました。

例年このイベントは11月に開催されていましたが、令和5年度が真冬並みの冷え込みとなり来場者が少なかったことから、令和6年度は2ヶ月早めて9月の開催となりました。PRおよび消費拡大のため、試食コーナーを設置し、福井県産牛肉、若狭牛のしゃぶしゃぶ600食と、ふくいポークの串焼きなどを振舞うとともに、食肉に関する情報をパネルで紹介したり、食肉の栄養に関する情報が書かれたアルコール入りウエットティッシュの配布も行いました。

残暑厳しい暑い日の開催となりましたが、開始前から多くの方々が、配布待ちに長蛇の列を作ってください、とても活気あふれたイベントとなりました。組合で作成した食肉の栄養に関する情報入りのウエットティッシュも人気でした。組合のアピールにもつながったのではないかと思います。



ついに新幹線も開通し、今後は県外からのお客様にも足を運んでいただけるようなイベントとなって、より多くの方に若狭牛やふくいポークをご堪能いただけたらと思います。

食肉に関する知識も増えるので、美味しくて勉強になる! 「ふくい食と農の博覧会」に来年もぜひ足を運んでみてくださいね! ご来場お待ちしております。

中華料理生活衛生同業組合

「全国中華料理業福井大会開催」

第55回 全国中華料理業福井大会が10月21日~23日、福井市の「ザ・グランドアークフクイ」で開かれ、中華料理の魅力を未来につなげる決意をあらたにした。全国中華料理生活衛生同業組合連合会が毎年開いており福井大会は31年ぶり。式典には全国の中華料理店の経営者ら約220人が出席した。

所信表明で、「日本独自の進化を遂げた中華料理の魅力をわれわれが掘り下げる必要がある」と主張、中華料理が国民に支持される原点は町中華にあるとした上で、「先人の築いたものに満足するのではなく、さらなるメニューの開発や味付けに挑戦してていかなければならない」と呼びかけた。



実行委員長として、大会開催にあたりご協力を頂きました関係各位に重ねてお願い申し上げます。
福井大会 どうもありがとうございました。

実行委員長 伊藤 順仁

生活衛生営業指導センター・連合会からのお知らせ

生衛業への支援要請活動を行いました

令和6年11月13日(水)、福井パレスホテルにおいて、連合会(光森幸夫会長以下、各生衛組合の理事長)が、福井県(池上栄志健康福祉部長、佐々木富代医薬食品・衛生課長)ならびに福井県議会生衛議員団(松田泰典議員、小堀友廣議員、兼井大議員、笹原修之議員)に対し、生衛業への支援要請を行いました。連合会からは、各組合が抱える問題や物価高騰に苦しむ生衛業界への一層の支援、誘客につながるメッセージ発信等を強く訴えました。

これに対し県側からは、組合の発展は行政にとっても望ましく願っていることでもあり、可能な限り協力するとの回答をいただきました。



衛生水準の確保・向上事業を推進しました

令和6年9月26日(木)、福井パレスホテルにおいて、各生衛組合、福井県、日本政策金融公庫および当指導センターが会合し、「第1回衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催しました。採択された行動計画に基づき、様々な事業活動が展開されています。

また、「生衛組合活性化塾2024in福井」と題して、「生衛業の地域包括ケアシステムへの参画」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



まず、岩手県指導センター佐々木浩明氏から、生衛業が行政や社会福祉協議会、民生委員等との連携により地域の高齢者向けに生活衛生サービスを提供する「岩手セイエイ百貨店」の取組について基調講演をいただきました。続いて、講師の佐々木様も交えて、生衛業に携わる方、地域包括ケアに携わる方、地域福祉専門の学識経験者の方をパネリストに迎え、幅広い視点と経験から活発なご議論をいただくとともに、会場参加者からも貴重なご意見等をいただくと、今後の生衛業の新たな取組の方向性を探る上で、大変有意義な機会となりました。

経営特別相談員研修会を開催しました

令和6年11月28日(木)、福井県職員会館において、経営特別相談員研修会を開催しました。

福井県から委嘱された39名の経営特別相談員を対象に、「特別相談員制度と役割」「地域密着型のお店の収益向上5つの秘策」「災害に備える 気象、地震」、全国指導センターから石井研究員を招き「衛経貸付の利用と推薦事務の進め方」について、相談指導活動に役立てていただける多様な講義が行われました。



クリーニング師研修を実施しました

令和6年11月17日(日)福井県自治会館において、会場型のクリーニング師研修を開催しました。大阪府クリーニング研究所の桑野所長をお招きし、「洗濯物の処理」、「繊維と繊維製品」について、事例を含め大変わかり易くご講義いただきました。



また、消費者センターの井藤研究員からは「洗濯物の受取り、保管、引き渡し」についての講義があり、ほかにも「衛生法規と公衆衛生」の講義がありました。

会場制以外にも通信制での受講をされる方もおられ、合わせて約40名が受講されました。理事長も受講されるなど、皆様の協力のもと円滑に研修会が実施されました。

高校生インターンシップを実施しました

令和6年6月21日(金)に開催された生活衛生営業後継者育成支援協議会において策定された計画に基づき、6月に各組合事業所の協力を得て、高校生のインターンシップを実施しました。福井県立商業高等学校、福井県立農林高等学校の生徒さんが、仕事を実際に経験することで、プロの技術や接客マナーなど、間近に感じる事が出来、働くことの大切さや生衛業への理解を深めるなど貴重な社会勉強になりました。

また、受入店の方々からも、明るい生徒さんたちで教え甲斐があったと高い評価をいただきました。



地域別なんでも相談会の実施

令和6年9月3日(火)、10日(火)、武生商工会議所および福井県職員会館にて「地区別なんでも相談会」を実施しました。相談会には中小企業診断士、税理士、(株)日本政策金融公庫職員の方々にお越しいただき、各組合員の方々からの専門的質問に答えさせていただきました。

安全・安心の目印 Sマーク とは？



安全・安心を約束する3つの“S”

Safety

安全であること

Sマーク登録店は、万一事故が発生した場合、事故賠償基準に基づいて賠償が行えるよう、損害賠償責任保険に加入しています。

Standard

安心であること

Sマーク登録店は、標準的なサービスを提供出来るよう、提供する役務の内容、基準を細かに定めています。

Sanitation

清潔であること

Sマーク登録店は、衛生的なサービスを提供出来るよう、営業施設又は、設備についての基準を定めています。

Sマーク 標準営業約款制度

標準営業約款制度「Sマーク」は、消費者の皆さまにご利用いただく際の安全・安心の目印です。

◆ 生活衛生同業組合 ◆

組 合 名	団 体 住 所		電 話
福井県理容生活衛生同業組合	〒910-1142	吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-2	0776-61-2443
福井県美容業生活衛生同業組合	〒918-8237	福井市和田東2-1713	0776-28-5200
福井県クリーニング業生活衛生同業組合	〒910-0015	福井市二の宮2-28-38 福弘ビル3F	0776-23-4044
福井県公衆浴場業生活衛生同業組合	〒910-0026	福井市光陽4-2-26	0776-22-2761
福井県興行生活衛生同業組合	〒910-0006	福井市中央1-17-12 (有)伊井興業内	0776-21-1511
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合	〒910-0005	福井市大手3-12-20 アレックシティおやかたビル2F	0776-22-7449
福井県料理業生活衛生同業組合	〒915-0076	越前市国府1-11-5 糸屋内	0778-22-0054
福井県寿司商生活衛生同業組合	〒910-8537	福井市大和田1-101 中央市場関連商品売場棟	0776-53-3040
福井県麺類業生活衛生同業組合	〒910-0302	坂井市丸岡町里丸岡3-10 大宮亭内	0776-66-8787
福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合	〒918-8239	福井市成和1-3123	0776-21-7839
福井県飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-25-0555
福井県社交飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-23-4833
福井県食肉生活衛生同業組合	〒910-8580	福井市大手3-17-1 福井県中山間農業・畜産課内	0776-20-0439
福井県中華料理生活衛生同業組合	〒918-8001	福井市つくも2-1-22 来々軒内	0776-36-8200

税務署からのお知らせ

確定申告はスマホ×マイナンバーカードでe-Tax

確定申告書等作成コーナーなら

金額を入力するだけで自動計算で申告書が完成！

マイナポータル連携で

控除証明書等のデータが自動入力できる！

e-Taxに必要なもの

- ✓ マイナンバーカード（有効期限にご注意ください）
- ✓ マイナンバーカード読取対応のスマホ
- ✓ マイナンバーカードのパスワード2つ
 - ① 署名用電子証明書のパスワード（英数6～16文字）
 - ② 利用者証明用証明書のパスワード（数字4桁）

確定申告書等
作成コーナーすでに
約70%の方が
e-Taxで
申告しています！

キャッシュレス納付が便利です！

国税庁では、各種の「キャッシュレス納付」手続きを用意していますので、是非ご利用ください。



令和6年分の確定申告

所得税および復興特別所得税・贈与税	
申告	令和7年 3月17日(月)まで
納税	消費税および地方消費税（個人事業者）
	令和7年3月31日(月)まで

税務署の申告会場への入場には、「入場整理券」が必要です。

▶ 各会場で当日配付

▶ LINEから事前発行

（国税庁 LINE公式アカウント）



申告に困ったときは、

動画で見る確定申告

「確定申告書等作成コーナー」の操作方法などを動画でご案内



チャットボット「ふたば」

チャットボット「ふたば」に、ご相談ください

